



部活動

学校訪問

学校自慢



▲いつも仲よし8人組 ▲練習前の笑顔

第九中学校

東尾久2-23-5

生徒が部活動を紹介します
女子バレーボール部

私たち8人は、ほぼ初心者です。最初はパスも続かず、サーブも入らずダメダメでした。でも、3年生の先輩や香山先生、コーチの方が優しく教えて下さり、今では試合ができるまでになりました。夏休み中があった、初めての大会では、区内の全チーム

私たちが、しかられるなど課題はまだまだ沢山あります。日々の練習に一生懸命取り組み、やがては都大会に行けるように顧問の香山先生、石川先生について行こうと思えます。これからも温かい応援よろしく願います。

執筆 1年 田島歩未

尾久第六小学校

西尾久8-26-9

学校の自慢を児童が
紹介します

二つ目は、なわとびかっこび王選手権です。今年、六年生はNHKなわとびかっこび王選手権に出場しました。一次予選を突破し、二次予選のための練習をたくさんしました。その中で、友だち同士でアドバイスをしな

と戦いましたが、1セットもとれない全敗でした。その後もつらい練習をがんばり、新人シード権大会や新人大会では1勝することができました。負けた試合の中にも接戦のセットもありました。前の自分たちに比べると一歩前進しました。

執筆 六年 秋山花葉
白井悠 川名麻美 道家若葉
徳本和花 山崎羽生斗
山澤茶々 渡辺龍



▲65周年を記念して撮影した航空写真



▲NHKなわとびかっこび王選手権東京都1位

尾久六小には、すてきな自慢がたくさんあります。その中でも、今回は二つのことを紹介します。一つ目は、今年、尾久六小が六十五周年をむかえることです。尾久六小は、六十五周年記念の航空写真をとったり、六十五周年を記念した集会をしたりしました。集会では、代表委員の人たちが尾久六小の歴史を発表したり、各学年のお祝いメッセージを言ったりと、六十五周年に関心を深めました。

このように、尾久六小にはすてきな自慢がたくさんあり、尾久六小の子たちは元気な子ばかりです。七十周年、八十年と続いていく尾久六小を築いていってほしいです。



▲休み時間に元気に長縄

それがきっかけで他の学年も縄とびをやり始め、長縄集会のためにクラスでおたがいをアドバイスし合っている様子も学校で一位を目指しています。

からクラスのきずなを深めることができました。また、

荒川リバーサイドマラソンが
開催されました!

11月20日、第25回荒川リバーサイドマラソンが、荒川河川敷右岸で開催されました。小学生から大人まで約2000人のランナーが、2・3・5・10キロのコースを駆け抜けました。区内の小・中学生も多く参加し、日頃からの運動の成果を発揮しました。



▲一緒にゴールを目指してラストスパート
▲開会式であいさつをする西川区長

「奥の細道矢立初めの地」
子ども俳句相撲大会

2人1組で俳句を披露し合い、トーナメント方式で横綱(優勝)の座を競います。素盞雄神社境内で開催する3月11日(土)の千秋楽(本大会)を目指して、ぜひ、投句してください。

対象 区内在住・在学の小学生
応募方法 1チーム2人1組で、2句の俳句(お題は「春の季節」)を作成し、2人の氏名・住所・電話番号・学校名・学年・チーム名・チーム名の由来・意気込みを明記し、持参または郵送で、1月11日(水)必着。
※応募作品は返却しません
※選考の上、千秋楽出場チームを決定します
応募用紙の配布・応募・問合せ
〒116-0003 荒川区南千住 6-63-1
荒川ふるさと文化館 ☎(3807) 9234
※応募用紙は荒川区ホームページからダウンロード可

みなは、旅行する時や初めて行く町を歩く時、何を頼りに歩く? 「タブレットで検索する!」って。さすが、荒川っ子だね。

タブレットが無かった江戸時代の旅人は、何を頼りにしていたと思う? 昔の地図はそんなに詳しくなくて、少し心細い。最も頼りになったのが道標だ。現在の道路標識のようなもので、区内にも古い道標が残っているんだよ。

昔、南千住にあったという道標が、最近、荒川区に寄贈された。頭が尖っている角柱型で、建てられたのは延享2

問合せ 荒川ふるさと文化館
(3807) 9234

あらかわ今昔ものがたり
あらかわの歴史と伝説
その105 あらかわの道標
~旅人の強い味方~

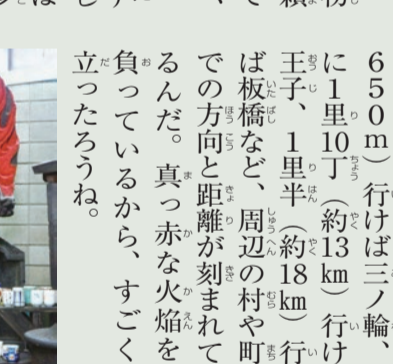
お不動さんも道標
荒川区役所の近くにも道標がある。意外や意外、明治通沿いにある、袈裟塚耳無不動(荒川三丁目)だ。お不動さんが座っている、宝暦10年(1760)に造られた台座を見ると、右に6丁(約650m)行けば三ノ輪、左に1里10丁(約13km)行けば王子、1里半(約18km)行けば板橋など、周辺の村や町までの方向と距離が刻まれているんだ。真っ赤な火焰を背負っているから、すごく目立つたろうね。

渡し場への道標
東京ガス入口から見て西側の角(南千住三丁目)にコンクリートブロック製の祠がある。この辺りは、江戸時代の地図を見ると幾つもの道の分岐点があった場所だ。中には幾つもの石造物が置かれ、道標もある。この道標は3匹の猿が彫られた庚申塔で、元禄4年(1691)に造られたんだ。右側に「是より東すみだの渡道」と刻まれているよ。

江戸時代の道標は、ほとんどが動かされていて、その役目を終えたけれど、町の歴史を刻んだ大切な文化財なんだ。みんなで守って行こうね。



袈裟塚耳無不動(区指定文化財)



渡し場への道標



江戸時代の道標は、ほとんどが動かされていて、その役目を終えたけれど、町の歴史を刻んだ大切な文化財なんだ。みんなで守って行こうね。